



介護老人保健施設  
グリーンビレッジ安行  
広報誌

2014年4月発行 春号 Vol.5

# ちゃぼひば

〒334-0059 埼玉県川口市大字安行1145 TEL: 048-299-0018 FAX: 048-299-0041  
ホームページ <http://gv-angyo.jp/> ぜひご覧下さい!!

～広報誌 ちゃぼひばの由来～

グリーンビレッジ安行のシンボルでもあるチャボヒバの木。この木のように、幾多の事にも挑戦して大きく成長していけるようお願いを込めて名付けました。



## 安行桜

～ 施設方針 ～

“グリーンビレッジ安行”は明るく暖かい雰囲気の中でリラックスできる環境を提供いたします。

### 理念

人間の尊厳  
正義・博愛・献身・科学的思考

- 1.施設を明るく家庭的な雰囲気には保ち、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援します。
- 2.短期入所・通所リハビリテーションの機能を生かし、在宅ケア支援を積極的に行います。
- 3.介護・医療・福祉に係わるすべての方々との連携を密にし、地域の皆様に愛し愛される開かれた施設を目指します。

### Contents

○安行のお隣 草加と芭蕉	2
○他職種連携によるケアの質向上をめざして	2
○施設内研究発表を終えて	2
○施設内にて認知症体験を実施しました	3
○チャボヒバを移植しました	3
○安行写真館	4
○新入職員紹介	4
○アクセス方法	4

「ちゃぼひば」VOL.5

平成26年4月発行

発行責任者：療養部長 小島 明美

編集・制作：広報委員会

委員長：堀田 智博

委員：平野 真子・工藤 修・佃 市子

平山 智経・佐藤 優里奈・小林 仁美

## 安行のお隣 草加と芭蕉

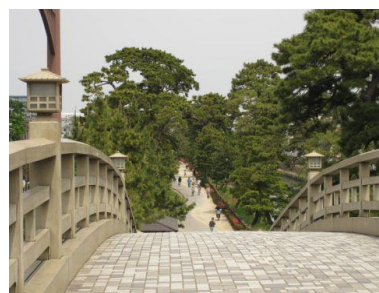
施設長 内野 善生

安行の東隣草加は、江戸時代に日光街道の宿場町として栄え、松尾芭蕉の日本を代表する紀行文「月日は百代の過客にして、行きかゝ年も又旅人なり。船の上に生涯・・・」で始まる『奥の細道』にもその名が記されている。草加宿が開かれたのは江戸時代初期の寛永7年（1630年）と聞く。日光街道第二の宿場として、千住と越谷の間に設けられた。当時の草加付近は湿地帯で埋め立てのため草木も加えたことが地名の由来ともいわれている。

芭蕉は深川から千住までは船で行き、肩にかかる荷物の重さに耐え2里8丁（8.8km）歩き草加に到着したのは開宿後、半世紀たったころだ。草加にある芭蕉のブロンズ像は多くの門人に別れを告げて旅に出たばかり、「江戸を振り返る」悲壮感が漂う立像となっている。共に旅をした門人の曾良（そら）の立像も道を隔てて立っており見逃せない。

このあたりから1.5kmにわたる松並木は、綾瀬川の改修（寛永年間）のとき植えられ、約100年後には1230本との記録がある。近年60本まで減った惨状を憂いた市民が中心となって補植し、現在では634本まで回復している。この「草加松原」の並木道は自然石が丁寧に敷き詰められ歩き良い。松並木にかかる太鼓橋の一つは百代橋（はくたいばし）、もう一つは矢立橋と命名されており、いずれも出典は『奥の細道』である。

松並木がひきたてる綾瀬川の趣も加わり、草加せんべいを片手に江戸時代に思いをはせる私には欠けがいの無い3月の半日となった。グリーンビレッジ安行を利用頂く草加の方々も多く、当施設職員もこの「安行のお隣 草加と芭蕉」のメモを題材に利用者の方との会話が弾む一助となれば嬉しく思う。



## 他職種連携によるケアの質向上をめざして

療養副部長 藤津 妙子

介護老人保健施設は、介護が必要な高齢者を支援していく施設として位置づけられ、高齢者の自立支援、在宅復帰という目標を実現するために様々な職種が一丸となって一人一人の高齢者へ関わります。そのためには他職種との連携が不可欠です。他職種の連携を進めていくに当たっては自らと異なる専門職の専門性を理解し、お互いに尊重することが重要です。他職種が連携する意義として、1) ご利用者の生活を安全にする、2) ご利用者が自立した生活をおくれるようにする、3) 必要な健康管理をする、こと等ご利用者の状態をより安定にすることです。これにはカンファレンス等でお互いに情報の共有を図り、実施、評価（結果）を話し合うことが重要と考えます。今後も「連携」を意識しながらサービスを提供していきます。

## 施設内研究発表を終えて

教育委員 津田 剛

施設内研究発表会を平成26年2月2日に開催しました。日頃、実践の場で感じた疑問や解決すべき問題に各部署が真剣に取り組み、今回は7演題が発表されました。研究メンバーが一年間かけて形にした成果を是非施設内で共有していければと思います。また、今後の研究発表会の開催方法なども含め、新しい取り組みを検討中です。研究活動に取り組むことでスタッフのケアの向上や老健施設としてよりよいサービスの提供につながればと考えています。



施設内にて認知症体験を行いました！！

昨年12月に埼玉セントラル病院の認知症認定看護師である鈴木知子さんを招き、認知症ケアについて研修会を実施しました。  
 研修では、認知症の疑似体験をし、受講者ひとり一人が感じたことをグループで語り合い、認知症の方を理解する上で有意義な研修となりました。



**認知症の人が体験している状況**

私は何しに来たんだっけ？  
 ここはどこ？  
 私はどうしてここにいるの？  
 私は今まで何をしていたの？  
 今何時？

**不安** **緊張**

**認知症の人が体験している状況**

今まで出来たことが出来なくなる  
 不自由  
 失敗が多くなる  
 話せなくなる  
 話そうとした瞬間にわからなくなる

**焦燥** **孤独**

＜研修を終えての感想＞

- ・認知症の方の言動で私たちが不思議に思う場面にも必ず理由があるということを理解できました。
- ・自分がその病態になった時を考えると、改めて不安・恐怖などを感じることができました。
- ・今回の研修を忘れないで認知症の方のケアをしていきたい。
- ・優しい対応・優しい口調で安心を得るのは私たちの仕事だと改めて感じました。

チャボヒバを移植しました！



平成26年3月8日移植開始★



平成26年3月15日移植完了★  
 陽当たりの良い場所になりました！！



当施設のシンボルでもあるチャボヒバを平成26年3月15日に移植しました。このチャボヒバは樹齢270年を超える歴史ある樹で、当施設の地主でもある宇田川様から譲り受けたものです。以前植えていた場所は陽当たりが悪いうえ水はけも悪く、元気がなくなってきたため陽当たりの良い少し高い場所へ移植しました。新しい場所は入口のすぐ横で、外からやご利用者の部屋からも眺められます。これからも大きく成長し当施設を見守っていつてもらえるよう願っています。

安行写真館

《1月行事》

各フロア新年会として、エントランスに設けた安行神社に参拝したり獅子舞、餅つきを行い新年を祝いました。

安行神社



《3月行事》

雛祭りとして、ご利用者と一緒にちらし寿司を作りました。お米研ぎや具を混ぜる際楽しそうに調理されていました。



《2月行事》

2月は節分です。鬼に扮した職員に豆に見立てたボールを投げつけて今年一年の厄払いをしました。

節分ロール



行事食

1月



おせち料理

2月



節分食

3月



ひな祭り食

新入職員紹介



ホソカワ タカヒデ  
氏名：細川 貴英  
職種：社会福祉士  
特技：サイクリング

4月より頑張っていきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。



ケンモク ミキ  
氏名：見目 実紀  
職種：管理栄養士  
特技：合唱

食事の面から施設の方々の力になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



タナカ キミエ  
氏名：田中 君枝  
職種：理学療法士  
特技：バスケットボール

利用者の方々のために笑顔で頑張ります。よろしくお願いいたします。



イシジマ ユウコ  
氏名：石島 優子  
職種：介護福祉士  
特技：スケートボード

努力していきますので、よろしくお願いいたします。



ヒラツカ ユミ  
氏名：平塚 優美  
職種：介護福祉士  
特技：バスケットボール

いたらない点もあるかと思いますが、笑顔で頑張ります。よろしくお願いいたします。



シマダ ミオ  
氏名：島田 美緒  
職種：介護福祉士  
特技：バドミントン

一生懸命頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

アクセス方法



《施設送迎バス》

東川口駅 発 ~ GV安行 行

東川口駅	戸塚安行駅	GV安行
10:45	10:55	11:00
15:30	15:40	15:50

《東川口駅停留位置》

南口出口

《戸塚安行駅停留位置》

出入口3番



ご意見・ご感想をお寄せ下さい！

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。頂戴したご意見等は、今後の誌面に役立たせて頂きます。皆様の声を広報局のメールアドレス g\_angyo18@tmg.or.jp までお届けてください！